

Q

先進事例の活用で、こども政策の更なる充実を

A

より一層部局横断的対応を図れる体制を研究



こども 五間くみ子



映像は  
こちらから

Q 国では、こどもまんなか社会の実現を目指すとして「こども基本法」を制定し、その司令塔的役割を担う「こども家庭庁」を来年度設置するとしている。本市の対応は。

A こども基本法では、国や地方自治体に、基本理念にのっとった施策の策定や実施する責務を有し、評価等にあたっては、こどもの意見を反映するよう求めている。本市においては、こども未来部をはじめ、教育、福祉、保健、医療など、関係する部署が今後も連携し、取り組んでいく。

Q こどもまんなか行政に対応できる体制づくりが必要と思うが、組織編成等踏まえた対応は。

●移行期間も含め更なる利用促進



詳細は  
QRコードから

A 既存の体制やネットワークの活用を含め、どのような連携体制が必要であるか検討していきたい。

●子宮頸がんワクチン、市の対応は

A 本年4月より、定期接種対象者へ積極的勧奨が再開、本市の取組は。

Q 公民館の指定管理者制度導入の目的の一つでもある利用促進の更なる方策として、登録団体以外のインターネット予約や、キャッシュレス決済の導入を図ってはどうか。

進を

Q 公民館の指定管理者制度導入の目的の一つでもある利用促進の更なる方策として、登録団体以外のインターネット予約や、キャッシュレス決済の導入を図ってはどうか。

A 導入には課題もあるが、前向きに検討したい。

Q

岡部駅北側の水道管敷設に対する市の受け止めは

A

水道管整備は完了、現制度を継続し負担軽減を図る



ひで 秀樹 島 福



映像は  
こちらから

Q 水道利用者に対する利用者への負担軽減とは何か。

A 「深谷市特設配水管布設等工事規定」に基づき、自己の居住する住居の場合など、条件に該当する場合は材料支給している。また、5戸以上の利用者から一括して申し込みがあり、利用者が工事費の半額を市に前納で負担する場合、市が工事費の半額を補助し、工事を実施することも可能としている。

●都市公園の設置について

Q 市街地外には街区公園の設置はできないのか。

A 人口密度が高く、高密度の土地利用がなされているなど、高い密集性を持った市街地に設置される公園となる。市街地外には、市内の配置バランス等を考慮し、近隣公園を設置している。



岡部浄水場  
深谷市水道庁舎

●街路灯の設置について

Q 街路灯の設置基準については。

A 各自治会長から提出された設置申請に基づき、申請された年度や点数、各自治会の設置バランスや予算の状況等を全体に考慮し、優先度の高い設置箇所を決定している。新規道路照明灯の設置は、毎年概ね60基設置しており、申請を受けてから設置に至るまで、おおよそ3年を要している。既に設置されている道路照明灯が暗いなど、故障している場合は現地確認後、防犯上も必要と判断し、明るいLED化を順次進めている。

Q

第11次深谷市交通安全計画を策定後の取組状況は

A

通学路整備計画に基づく危険個所の対応等を実施した



お夫 英 田



映像は  
こちらから

Q SDGsの理念を取り入れたことだが、どのようなことか。

A 将来的には交通事故死者ゼロを目指してSDGsの理念に貢献しようとするものである。

Q 北通り線の南下郷地区に横断歩道が設置できないか。

A 横断歩道の設置は、警察本部において設置の判断を行う。要望を受けた際には、警察に情報提供及び設置についての働きかけを行っていく。

Q 北通り線は夜間暗いところが多い。道路照明灯を設置してほしい。

A 両側が畑の箇所が多く、農地所有者等の同意が必要になるが、各自治会長からの設置要望書に基づき現地確認、検討を行っていく。

Q 国済寺区画整理地内には交差点があることがわかりづらい箇所がある。注意喚起を促す対策を。

A 暫定対策として、必要な所に交



全国交通安全運動 街頭キャンペーン

差点クロスマーク、破線、カラー舗装などを設置している。事業完了の目途が立ったら警察協議を行い、交通規制に係る安全対策を図っていく。

●フードドライブについて

Q フードドライブに取り組み自治体が増えているが、深谷市として独自に取り組む考えはないか。

A 深谷市社会福祉協議会でこれまで3回実施した。生活に困窮している方からの相談の際にも、必要に応じて食料品の提供をしている。独自にフードドライブに取り組む予定はないが、引き続き、深谷市社会福祉協議会や関係団体と連携していく。

Q

道路舗装を早急に対応して戴きたい

A

現地の状況を改めて調査し、着手の可否を検討する



ひこ彦 勝 田 永



映像は  
こちらから

Q 秩父鉄道明戸駅の北側に位置する瀬山地区内の生活道路である市道Q719号については、未舗装であり降雨時には水溜りができることから、周辺住民は大層難儀している。道路舗装を早急に対応するよう善処してほしい。

A 市としても、当該市道は未舗装であり、降雨時に水溜りができていると認識している。このような未舗装の道路を舗装するといった生活道路の整備については、地元自治会が生活道路整備申出書を市に提出する必要がある。令和4年1月に瀬山自治会から提出されている。舗装新設については、自治会の優先順位を踏まえ、要望区間における住宅の有無及び戸数、周辺環境や利用状況、地域バランスなどに配慮しながら着手箇所を選定している。なお、自治会の優先順位とは、毎年自治会長会議



市道Q719号